

令和5年度（令和4年度分）
教育に関する事務の管理及び執行の状況
点検・評価結果報告書

令和5年8月
玖珠町教育委員会

目 次

1	点検・評価の概要	・・・・・・・・P 1
2	令和4年度玖珠町教育委員会の重点方針	・・・・・・・・P 3
3	点検・評価一覧	・・・・・・・・P12
4	事務管理の執行状況点検・評価基準	・・・・・・・・P13
5	点検・評価調書の説明	・・・・・・・・P14
6	事務管理の執行状況点検・評価調書	・・・・・・・・P16

1. 点検評価制度の概要

(1) 経緯

平成18年12月に教育基本法が全部改正され、これに続き地方教育行政の組織及び運営に関する法律も、平成19年6月にその一部が改正され、平成20年4月から施行されました。

この法律の改正により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その報告書を議会へ提出し公表することが義務付けられました。

(2) 目的

事務の点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

(3) 評価等の対象

評価等の対象は、毎年度策定している玖珠町教育行政の重点方針であり、各方針の具体的取組に目標指標を設け、達成率から総合的に令和4年度分の事務の管理及び執行状況について点検・評価したものです。

(4) 評価の方法について

重点方針の具体的な取組に目標指標を設け、客観的に事業の達成度が分かるようにしています。複数の具体的な取組の達成度を総合的に判断し、教育委員会の「自己評価」及び事務評価部会が行う「総合評価」で評価を行っています。

(5) 学識経験者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定による有識者の知見の活用については、玖珠町教育委員会事務・点検評価委員会として3名の委員が専任されています。

○委員

委員長 秦 亜紀氏
梶原千秋氏
森 初美氏

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項に規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和4年度玖珠町教育行政の重点方針

令和4年4月
玖珠町教育委員会

令和4年度玖珠町教育行政の重点方針

教育行政の基調

『子どもたちに未来へのバトンを渡すために』

～ 少子・人口減少社会において地方創生を視野に入れた地域の活力を生み出す教育施策 ～

現在のわたしたちの社会生活は、地域の人口減少と少子高齢化が進む中で、グローバル社会の進展に伴う価値観の多様化や、情報通信技術の進歩とSNSの普及など、急速に変化する生活環境の中でさまざまな影響を受けています。そういった中で、子どもたちの規範意識や道徳心の低下、家庭や地域の教育力の低下、そして地域社会のつながりの希薄化などが顕在化しており、社会的な課題となっています。

また、コロナ禍の中で、GIGAスクール構想による一人一台パソコンを活用したオンライン授業の実施やデジタル教材の普及など、子どもたちの教育環境も大きく変化しています。

玖珠町第6次総合計画に掲げられた「次代を担う子どもとともに 未来をつくるまち」というまちづくりの基本理念を実現するためにも、子どもたちの「心の豊かさ」や「生きる力」を育む学校教育の取組とともに、住民一人ひとりが生きがいや思いやりを持ち「活力ある共生社会」の実現に向けた主体的な生涯学習も推進しなければなりません。

玖珠町教育委員会は、玖珠町教育行政の目指すべき方向を確かなものにするとともに、現状の課題や具体的な取組を明らかにするため、毎年度重点方針を定めて事業施策を展開していきます。

玖珠町のまちづくりのテーマである「童話の里」づくりは人づくりです。人が生涯にわたって生き生きと暮らすためには、教育の果たす役割はきわめて重要です。学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら協働し、町民一人ひとりが夢を持ち、個々と地域の課題を掘り起こし、解決方法を探ることこそが「童話の里」づくりであるとの認識に立ちます。

今年度の重点方針

I 学校教育

1. 確かな学力の定着・向上（知）
2. 豊かな人間性の育成（徳）
3. 心身の健康と体力の向上（体）
4. 特別支援教育の充実
5. 保護者・地域に開かれた学校づくりの推進
6. 安心・安全な学校づくり
7. 組織的に取り組む学校運営体制づくりと教職員の資質向上
8. 「この地域」だからこそ学べる魅力ある学校づくり
9. 学校間・校種間のきめ細やかな連携
10. ICTを活用した教育の推進
11. 学校における働き方改革の推進
12. 地域の高校に対する支援と玖珠志学塾の運営
13. 就学前教育の質の向上と教育環境の整備
14. 安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進

II 社会教育

1. 地域の協育力の向上
2. 子どもと大人 家庭と地域での教育
3. 生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進
4. 久留島武彦精神を継承する環境の充実
5. 文化の創造と振興
6. 地域にある文化財の保存と活用の推進
7. 生涯学習を保障する図書館サービス網の充実

III 人権教育

1. 学校教育における人権教育の充実
2. あらゆる場における人権教育の推進

I 学校教育

「自分が好き、学校が好き、玖珠が好き」と言える子どもの育成をめざし、本年度4つの重点をもって、学校教育施策を行います。

1. 知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成
2. 家庭・地域に信頼され、協働して子どもを育む学校教育の推進
3. 学校間・校種間のきめ細やかな連携
4. ICTを活用した教育の推進

1. 確かな学力の定着・向上（知）

「第5次玖珠町学力向上推進計画」に基づき、教育行政、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を全うすることで、確かな学力の定着・向上を図ります。

- ①確認テスト・玖珠町標準学力調査の実施
- ②図書館活用教育の推進

2. 豊かな人間性の育成（徳）

あいさつ、時間、言葉遣いなど基本的な生活習慣の徹底を図るとともに、心の教育（道徳教育・人権教育等）を充実させることによって、自己肯定感を育む取組を推進します。

- ①体験的参加型授業・体験活動の充実
- ②生徒指導の充実

3. 心身の健康と体力の向上（体）

町内全小・中学校において「体力向上一校一実践」の取組を継続的に行い、体力の向上に努めるとともに、望ましい生活習慣に繋がるように食育の充実を図ります。

- ①日常的な体力づくりの充実
- ②栄養教諭を活用した食に関する指導の充実

4. 特別支援教育の充実

支援を要する児童生徒の能力や可能性を最大限に伸ばし、社会的自立に必要な力を養うため、就学前から関係団体との連携を図ります。

- ①個別の指導計画の作成と活用の推進
- ②特別支援教育支援員の活用
- ③インクルーシブ教育の推進（同じ場で共に学ぶ）

5. 保護者・地域に開かれた学校づくりの推進

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を活用し、保護者・地域住民の学校経営への参画を促し、家庭・地域に信頼される「地域とともにある学校づくり」を推進します。

- ①積極的な情報発信
- ②地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の推進
- ③地域学校協働本部との連携

6. 安心・安全な学校づくり

生活安全（防犯）、交通安全、災害安全（防災）の3つの領域それぞれにおいて、児童生徒の安全確保に向け、安心・安全な学校づくりに取り組みます。

- ①危機管理マニュアルの見直しと研修
- ②通学路安全点検の実施と危険個所の解消
- ③施設・設備の安全点検の徹底及び整備

7. 組織的に取り組む学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上

学校の教育目標達成に向けて組織的に取り組む学校運営体制を確立するとともに、互見授業や校内研修の充実及び研究推進校の指定や学校訪問等を通して、教職員の資質・能力の向上を図ります。

- ①校内研修や管理職による観察・指導の実施
- ②各校教職員間の効果的な研修の実施

8. 「この地域」だからこそ学べる魅力ある学校づくり

玖珠町出身の先哲等に学ぶ学習を推進することを通して、郷土についての理解を深めるとともに、郷土を愛し、より良くしようとする態度の育成を目指します。

- ①教職員への郷土を学ぶ研修の実施
- ②副読本を用いた各小学校における久留島学習をはじめとする先哲学習の定着

9. 学校間・校種間のきめ細やかな連携

小学校とくす星翔中学校が連携し、中1ギャップ解消をはじめスムーズな中学校生活が送れるように取り組みます。

また、くす星翔中学校と玖珠美山高校との校種間連携や、玖珠町内のこども園や町立幼稚園と小学校との校種間連携が円滑に進められる場づくりに取り組みます。

- ①校種間連携に係る事業の実施

10. ICTを活用した教育の推進

文部科学省の推進するGIGAスクール構想において示されている「一人一人の能力や個性に応じて個別最適化された学び」の実現に向けて、学習環境の整備充実に取り組みます。

- ①デジタル教材の活用
- ②児童生徒の情報活用能力の向上
- ③家庭学習での通信端末の活用

11. 学校における働き方改革の推進

学校における働き方改革の目的は、「教師がこれまでの学校教育の蓄積と向かい合って自らの授業を磨くとともに、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになること」です。これに基づき、学校における働き方改革を推進します。

- ① ICTを活用した日常における業務改善の取組
- ②出退勤管理と具体性のある改善目標の設定（1校1改善運動）

1 2. 地域の高校に対する支援と玖珠志学塾の運営

地域に唯一の高校である県立玖珠美山高校の存続に向けた支援を行うとともに、同校生徒の進路達成に向けた支援に取り組みます。

- ①広報及び人材育成や部活動への支援
- ②公営塾の効果的な運営
- ③郡外等から就学する生徒への下宿助成

1 3. 就学前教育の質の向上と教育環境の整備

「玖珠町幼児教育振興プログラム」に基づき、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を小学校、幼稚園、こども園と共有し、就学前教育の質の向上と充実を図ります。また、地域の実態をふまえた教育環境の整備に努めます。

- ①諮問機関における調査、審議
- ②認定こども園等と町立幼稚園の連携
- ③幼小接続カリキュラムの編成
- ④関係機関との情報共有と就学前児童及び保護者への相談支援

1 4. 安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進

玖珠町で採れる新鮮で安全・安心な米や野菜などの食材を積極的に活用しながら、地域の農と食文化の素晴らしさを知り、郷土愛を育む取組を進めます。

食材費とのバランス関係にある給食費の滞納対策を強化します。

学校給食センターの施設の更新・改修により、調理能力及び衛生管理を補強し安全・安心で美味しい給食の提供に努めます。

- ①郷土愛を育む地産地消の推進
- ②新鮮で安全・安心である適正な食材確保
- ③計画的な調理施設・設備・備品等の整備
- ④調理業務の民間委託の検討

Ⅱ 社会教育

社会教育基本計画（令和3年度から令和7年度まで）の3つの基本目標に沿った7つの重点方針により、本年度の社会教育施策を行います。

【社会教育基本計画 基本目標】

1. 人づくり 生きがいを育む社会教育の推進
2. 体づくり 心と体の調和を図る社会体育の充実
3. 心づくり 郷土の文化・歴史の学習、芸術創造力の育成

1. 地域の協育力の向上

地域づくりの主役である大人自身が地域の持つ課題を認識し、主体的な生涯学習に対する意識を高めることで、地域づくりに参画・協働する雰囲気づくりを進めます。

また、子ども達と共に学び世代間の繋がりを持つことで、子ども達が大人になってからも地域を発展させる力となるようにしなければなりません。

- ①「協育」ネットワーク連携促進事業
- ②世代に応じた各種学習活動の支援

2. 子どもと大人 家庭と地域での教育

家庭や地域での学びは、人間形成の基礎を養う大切な役割を担っています。学習機会の充実を図ることにより各家庭の教育力の向上に繋がると共に、子ども達には、地域での交流や体験を通じた活動で、学び・考え・行動するといった人格を養う環境づくりをしなければなりません。

子どもの健全育成のためには、家庭・地域・学校と連携を図る必要があります。

- ①青少年健全育成協議会への支援
- ②わらべサークル協議会への支援
- ③児童文化の担い手の育成
- ④家庭教育に関する講演会の実施

3. 生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進

心身ともに健康で充実した毎日を過ごすためには、生涯にわたってスポーツ・レクリエーションを楽しむことが重要です。

活動団体及び指導者の育成及び競技力向上の支援、体力向上・健康増進に関する情報や学習機会の提供をしていく必要があります。

- ①スポーツ団体、サークル活動の充実
- ②住民参加型のスポーツイベントの実施

4. 久留島武彦精神を継承する環境の充実

「童話の里」の根幹をなす日本のアンデルセン・久留島武彦の偉業やその精神を後世に伝えるため、各年齢層に合った学習環境を充実します。久留島武彦の幅広いネットワークを活かせるような企画を試み、記念館を通じた調査・研究の成果を町民と共有することで、半世紀以上の歴史を誇る「童話の里」づくりのさらなる発展を目指します。

- ①日本童話祭の開催
- ②久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催

- ③久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催
- ④久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催
- ⑤小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供
- ⑥久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信

5. 文化の創造と振興

文化芸術の振興は、「童話の里」づくりにとって重要な取組です。文化の薫る感性豊かな町となるために、すぐれた文化芸術作品に触れる機会を充実し、理解を深め、親しめる環境づくりを行います。

- ①町美術展覧会・自主文化芸術活動への支援
- ②巡回音楽会の開催
- ③文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催
- ④文化芸術に触れる機会の提供
- ⑤久留島武彦記念館による企画展の開催

6. 地域にある文化財の保存と活用の推進

地域にある文化財を活用した、郷土教育並びに地域の歴史、文化を学ぶ場の提供が必要です。このことから、町内の小中学校への出前授業をはじめ文化財の保護・保存・整備に取り組み、地域づくりにつながる活動を行っていきます。

- ①文化財の保存・活用の推進
- ②国指定文化財の保存整備
- ③各小中学校の郷土教育の支援

7. 生涯学習を保障する図書館サービス網の充実

あらゆる年代層に生涯学習を保障するため、既存施設を活用した図書館サービス網を充実させるとともに今後の図書館サービスのあり方について関係各所と連携・協議を深めます。

- ①わらべの館の図書の充実
- ②くすまちメルサンホール図書室の充実と利用者の拡大
- ③わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携
- ④わらべの館移動図書館車の活用
- ⑤図書館サービスのあり方について連携・協議（各自治会館との連携）

Ⅲ 人権教育

1. 学校教育における人権教育の充実

玖珠町人権施策基本計画に伴う実施計画に基づいて、教育活動全体を通して意図的・計画的に人権教育を推進します。また、人権教育推進校の指定による研究成果の共有、人権に係る研修会への積極的な参加等によって、教職員の資質の向上を図り、人権教育の充実を目指します。

- ①児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進
- ②部落差別解消に向けた教職員研修の実施

2. あらゆる場における人権教育の推進

「玖珠町人権施策基本計画」を基調に、わが国固有の人権問題である部落差別問題をはじめ、女性や子ども・高齢者・障がい者・外国人・医療など様々な人権課題について正しく理解し、その解決に向けた意欲と実践力を持った住民を育成することが重要です。あらゆる場において、学習機会の提供を人権確立・部落差別解消推進課と連携して進めます。

- ①人権公開講座の開催
- ②広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載
- ③部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価一覧

令和4年度 重点施策		担当班	頁	自己評価	総合評価
I 学校教育					
1	確かな学力の定着・向上（知）	学務・指導班	1	C	C
2	豊かな人間性の育成（徳）	学務・指導班	2	B	B
3	心身の健康と体力の向上（体）	学務・指導班	3	B	B
4	特別支援教育の充実	学務・指導班	4	C	B
5	保護者・地域に開かれた学校づくりの推進	学務・指導班	6	B	A
6	安心・安全な学校づくり	学務・指導班 教育政策班	8	A	A
7	組織的に取り組む学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上	学務・指導班	10	A	A
8	「この地域」だからこそ学べる魅力ある学校づくり	学務・指導班	11	B	B
9	学校間・校種間のきめ細やかな連携	学務・指導班	12	C	B
10	I C Tを活用した教育の推進	GIGAスクール推進室	13	B	B
11	学校における働き方改革の推進	学務・指導班	15	C	B
12	地域の高校に対する支援と玖珠志学塾の運営	教育政策班	16	B	B
13	就学前教育の質の向上と教育環境の整備	学務・指導班	18	B	B
14	安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進	給食センター	20	C	B
II 社会教育に関すること					
1	地域の教育力の向上	社会教育班 公民館班	22	B	B
2	子どもと大人 家庭と地域での教育	社会教育班 わらべの館	24	C	B
3	生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進	社会教育班	26	C	C
4	久留島武彦精神を継承する環境の充実	社会教育班 わらべの館 久留島武彦記念館	27	B	B
5	文化の創造と振興	社会教育班 公民館班 久留島武彦記念館	30	B	B
6	地域にある文化財の保存と活用の推進	社会教育班	32	A	A
7	生涯学習を保障する図書館サービス網の充実	公民館班 わらべの館	34	B	B
III 人権教育					
1	学校教育における人権教育の充実	学務・指導班	36	A	A
2	あらゆる場における人権教育の推進	社会教育班	37	B	A

事務管理の執行状況点検・評価の基準

達成率・達成度について

各方針の具体的取組に目標指標を設け、それに対する実績値から達成率を算定し、達成度としています。

達成度	達成度の目安
◎	達成率100%以上
○	達成率100%未満80%以上
△	達成率80%未満60%以上
×	達成率60%未満
—	コロナ禍により測定未実施

自己評価・総合評価について

教育委員会評価を「自己評価」、事務評価部会評価を「総合評価」とし、重点方針の主要事業を総合的に評価したものとしています。

評価ランク	目標に対する達成度合い
A	「十分成果が上がっている。」
B	「成果がみえる」
C	「成果がみられるが、更なる取り組みを要する」
D	「改善を必要とする」
E	「抜本的見直しが必要」

事務の点検・評価調書説明

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	1	学校教育	担当所属	教育政策班 指導班
中項目（方針）	1	確かな学力の定着向上		

説明：玖珠町教育行政の重点方針の大項目（学校教育、社会教育、人権教育）、大項目下の中項目（令和4年度方針23項目：学校教育14、社会教育7、人権教育2）を記入しています。

1 主要事業（目指すべき方向性）【計画】

主要事業	①教育環境の整備 ②基礎学力の定着と向上
前年度点検・評価 で整理した課題	①・・・を改善する ②・・・を重点的に行う。

説明：主要事業は、玖珠町教育行政の重点方針の小項目を記入しています。それに対して、整理した課題等を記入しています。主要事業①＝課題①（※今後丸数字は、すべて主要事業にリンクしています）

2 令和4年度に実施した取組【実行】

主要事業①教育環境の整備
◆ ◆
主要事業：②基礎学力の定着と向上
◆ ◆

説明：主要事業の中で、実施した取組を箇条書きにしています。

3 目標指標の設定 【実行】

目標指標	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
①・・・	台	1050	・・・
②・・・	%	100	・・・

説明：4で目標数値の達成度から評価を行うが、目標数値の設定根拠について記入しています。

4 目標指標の達成度【評価】

目標指標	単位	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a	達成度	自己評価	総合評価	
①	台	1050	1050	100	◎	B	C	
②	小	%	100	100.5	100.5			◎
	中	%	100	95.3	95.3			○

説明：目標数値に対して、実績値・達成率を記入しています。それにより、達成度を表しています。

【達成度：達成率に対して、「◎」100以上、「○」99～80、「△」79～60、「×」60未満】
 (※令和4年度は、新型コロナウイルスの影響を受けた事業の達成度は、を測定していない
 その場合「-」を記入しています)

【評価：A 十分成果が上がっている、B 成果が見える、C 成果がみられるが、更なる取り組みを要する、D 改善を必要とする、E 抜本的見直しが必要】

評価は、達成度の状況を考え、教育委員会の自己評価、事務評価部会委員の総合評価を記入しています。

5 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業①教育環境の整備
◆ ◆
主要事業：②基礎学力の定着と向上
◆ ◆

説明：改善項目は、事業ごとに記入しています。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	1	確かな学力の定着・向上（知）		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 確認テスト・玖珠町標準学力調査の実施 ② 図書館活用教育の推進
前年度整理した課題	① 小学校においては目標値を達成しているが、中学校においては達成できていない。 ② —

2. 令和4年度に実施した（する）取組【実行】

主要事業： ① 確認テスト・玖珠町標準学力調査の実施
◆ 確認テスト・玖珠町標準学力調査の実施
主要事業： ② 図書館活用教育の推進
◆ 図書館を活用した授業の実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 確認テストにおいて、目標値を超える学年数75%以上	%	75	全学年数103（1回目は1年生を除くため、全学年数31）年3回実施
① 玖珠町標準学力調査において、全学年、全教科において目標値を超える	教科数	27	小1～小3：2教科、小4：3教科、小5～小6：4教科 中1～中2：5教科 合計27教科
② 玖珠町標準学力調査において、全学年目標値を超える	学年	8	小1～中2 「読むこと」の領域が目標値を上回る

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 確認テストにおいて、目標値を超える学年数75%以上	%	75	79.6	100	◎	C	C
① 玖珠町標準学力調査において、全学年、全教科において目標値を超える	教科数	27	21	77.8	△		
② 玖珠町標準学力調査において、全学年目標値を超える	学年	8	7	87.5	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 確認テスト・玖珠町標準学力調査の実施
◆ 標準学力調査について、小学校は目標値を達成しているが、中学校は達成できていない。小学校で付けた力を中学校で伸ばせるよう、引き続き確認テスト及び標準学力調査を実施し、課題の検証と学力の定着に取り組む必要がある。
主要事業： ② 図書館活用教育の推進
◆ 標準学力調査（国語）において、小学校4年生を除く学年で目標値を上回ることができた。今後も、図書館を利用した授業を全学校で実施することによって、すべての学習の基礎となる読む力の向上を図ってきたい。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	2	豊かな人間性の育成（徳）		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 体験的参加型授業・体験活動の充実 ② 生徒指導の充実
前年度整理した課題	① 学校規模に関わらず、全ての学校において、何らかの形で体験的参加型活動授業に取り組めるよう、支援体制を整えることが必要である。 ② —

2. 令和4年度に実施した（する）取組【実行】

主要事業： ① 体験的参加型授業・体験活動の充実
◆ 体験的参加型授業・体験活動の実施
主要事業： ② 生徒指導の充実
◆ いじめ・不登校及び教育相談に係る取組

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 体験的参加型授業・体験活動の実施	校	7	全学校
② 学校が楽しいと回答した児童生徒の割合	%	小83.4 中81.1	R3全国学力調査質問用紙（小6、中3）に基づく全国値

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 体験的参加型授業・体験活動の実施	校	7	7	100	◎	B	B
② 学校が楽しいと回答した児童生徒の割合	%	小83.4 中81.1	小86.5 中81.9	小100 中100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 体験的参加型授業・体験活動の充実
◆ 全国学力調査質問用紙において、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と回答した児童生徒の割合は、小学校56.7%、中学校56.2%と、それぞれ全国値（小学校51.3%、中学校40.7%）を上回っている。学校における体験活動が地域を考えるきっかけとなっている。今後も全ての学校に支援を続けていく。
主要事業： ② 生徒指導の充実
◆ 「学校が楽しい」と回答した児童生徒の割合について、それぞれR4全国値（小学校85.4%、中学校82.9%）を上回っている。引き続き、学校における居場所づくりに取り組んでいく。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	3	心身の健康と体力の向上（体）		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 日常的な体力づくりの充実 ② 栄養教諭を活用した食に関する指導の充実
前年度整理した課題	① ー ② 中学校での未実施

2. 令和4年度に実施した（する）取組【実行】

主要事業： ① 日常的な体力づくりの充実
◆ 学校ごとに「体力向上一校一実践」を実行する。
主要事業： ② 栄養教諭を活用した食に関する指導の充実
◆ 栄養教諭招致授業の実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 「運動が好き」の割合	%	小男93.3 小女87.6 中男89.4 中女79.2	R3体力・運動能力調査 全国値
② 栄養教諭招致授業の実施	校	7	全小中学校

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 「運動が好き」の割合	%	小男93.3 小女87.6 中男89.4 中女79.2	小男94.9 小女81.5 中男88.1 中女72.1	小男100 小女93.0 中男98.5 中女91.0	○	B	B
② 栄養教諭招致授業の実施	校	7	7	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 日常的な体力づくりの充実
◆ 児童生徒が楽しく取り組めるよう、各学校で工夫を凝らした体力づくりのための1校1実践の活動を行った。活動に対する児童生徒の意見は肯定的なものが多く、「運動が好き」の割合に表れている。日常的な体力づくりにつながるよう、引き続き1校1実践の活動に取り組むとともに、家庭との連携に努めたい。
主要事業： ② 栄養教諭を活用した食に関する指導の充実
◆ 昨年度は小学校のみでの実施となった栄養教諭招致授業だったが、今年度は全ての学校で学期に1回以上実施できた。引き続き、年齢に応じた食に関する指導を実施することで、心身ともに健康な体づくりを目指す。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	4	特別支援教育の充実		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 個別の指導計画の作成と活用の推進 ② 特別支援教育支援員の活用 ③ インクルーシブ教育の推進（同じ場で共に学ぶ）
前年度整理した課題	① - ② 支援員のスキルアップを図る ③ -

2. 令和4年度に実施した（する）取組【実行】

主要事業： ① 個別の指導計画の作成と活用の推進
◆ 個別の指導計画の活用の推進
主要事業： ② 特別支援教育支援員の活用
◆ 特別支援教育支援員研修の実施
主要事業： ③ インクルーシブ教育の推進（同じ場で共に学ぶ）
◆ インクルーシブ教育の推進

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 個別の指導計画に基づいた授業改善の実施と校内での還流	校	6	個別の指導計画作成が必要な児童生徒が在籍する小中学校
② 特別支援教育支援員研修の実施	回	2	年度初め、長期休暇
③ インクルーシブ教育推進校	校	5	特別支援学級が設置されている学校

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 個別の指導計画に基づいた授業改善の実施と校内での還流	校	6	6	100	◎	C	B
② 特別支援教育支援員研修の実施	回	2	1	50	×		
③ インクルーシブ教育推進校	校	5	5	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 個別の指導計画の作成と活用の推進
◆ 「個別の指導計画」については、必要な児童生徒全員分が作成できている。また、個別最適な学びの提供のための授業改善の実施、「個別の指導計画」推進教員の支援訪問後の校内での還流も実施されており、校内での共有が行われている。引き続き「個別の指導計画」の活用を推進していく。
主要事業： ② 特別支援教育支援員の活用

- ◆ 年2回の研修実施を計画していたが、長期休暇中の日程調整ができず、昨年度に引き続き1回のみの実施となった。しかしながら、年度初めに研修を実施することで、他校支援員との情報交換も可能となり、研修内容を児童生徒の支援に活かすことができた。次年度は年2回の研修を実施し、支援員のスキルアップを図りたい。

主要事業： ③ インクルーシブ教育の推進（同じ場で共に学ぶ）

- ◆ 特別支援学級に在籍する児童生徒は、それぞれの学年（学級）に席があることで、あらゆる学校教育活動を通じて、同じ場で共に学ぶ機会を設けることができた。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	5	保護者・地域に開かれた学校づくりの推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 積極的な情報発信 ② 地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の推進 ③ 地域学校協働本部との連携
前年度整理した課題	① - ② - ③ -

2. 令和4年度に実施した（する）取組【実行】

主要事業： ① 積極的な情報発信
◆ 学校ホームページの活用
主要事業： ② 地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の推進
◆ 地域人材によるゲストティーチャー授業の実施
主要事業： ③ 地域学校協働本部との連携
◆ 学校運営協議会への地域学校協働活動推進員の参画

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① ホームページの更新	校	7	学校ごとに月1回以上の更新
② ゲストティーチャーによる授業	校	7	全学校
③ 地域学校協働活動推進員の参画学校数	校	7	全学校

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① ホームページの更新	校	7	7	100	◎	B	A
② ゲストティーチャーによる授業	校	7	7	100	◎		
③ 地域学校協働活動推進員の参画学校数	校	7	7	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 積極的な情報発信
◆ 学校によって更新回数に差はあるものの、情報発信のためホームページを活用している。引き続き、情報発信のための手段のひとつとして積極的な活用を促すとともに、町報への情報提供を行いたい。
主要事業： ② 地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の推進

ゲストティーチャーによる支援日数や支援者の人数は、昨年度に比べ増加している。また、学校行事への支援日数も新型コロナウイルス感染症流行前に戻りつつあり、以前のような消極的な雰囲気は薄れてきている。

- ◆ 全国学力調査質問用紙による「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた児童生徒の割合は、小学校58.7%、中学校69.5%とそれぞれ全国値（小学校52.7%、中学校40.0%）を上回っており、ゲストティーチャーの支援活動等により、地域への関心が高くなっていることが分かる。

主要事業： ③ 地域学校協働本部との連携

- ◆ 地域学校協働活動推進員が各学校運営協議会の一員として参画することで、開かれた学校づくりの一助となっている。また、北山田小学校における活動が、令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を受賞したことから、玖珠町における連携が評価されていることが分かる。引き続き、各学校において連携を深めていけるよう取り組んでいく。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	教育政策班 学務・指導班
中項目（方針）	6	安心・安全な学校づくり		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 危機管理マニュアルの作成と実行（指） ② 通学路安全点検の実施と危険箇所の解消（政） ③ 施設・設備の安全点検の徹底及び整備（政）
前年度整理した課題	① 今後も継続的な訓練実施と、必要な計画の見直しを促していく。 ② 道路の改修箇所等で、予算の関係で緊急性の順序を判断する必要がある。 ③ 施設の老朽化に伴い、点検結果において指摘事項が増えてきている。緊急性の判断が必要である。

2. 令和4年度に実施した（する）取組【実行】

主要事業： ① 危機管理マニュアルの作成と実行（指）
◆ 避難確保計画に基づいた訓練の実施
主要事業： ② 通学路安全点検の実施と危険箇所の解消（政）
◆ 通学路安全点検を実施し、改善箇所と改善対策とその改善対策と実施機関を明確にする
主要事業： ③ 施設・設備の安全点検の徹底及び整備（政）
◆ 学校施設・環境の安全点検の実施と危険箇所の解消

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 避難確保計画に基づいた訓練の実施	校・園	7	要配慮者施設に指定された学校及び幼稚園
② 点検による危険箇所の改善数（政）	件	36	当該年度の危険箇所の改善・対応数
③ 校内安全点検による危険箇所改善数	件	15	前年度からの改善要望箇所の数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 避難確保計画に基づいた訓練の実施	校・園	7	7	100	◎	A	A
② 点検による危険箇所の改善数（政）	件	36	36	100	◎		
③ 校内安全点検による危険箇所改善数	件	15	15	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 危機管理マニュアルの作成と実行（指）
◆ 実施時期は異なったものの、対象となっている学校・園において、避難訓練が実施された。また、訓練実施に伴い、計画の見直しが必要となった学校等においては修正と提出を行っている。今後も継続的な訓練実施と、必要な計画の見直しを促していく。
主要事業： ② 通学路安全点検の実施と危険箇所の解消（政）
◆ 施設の改修などの危険箇所の解消もあるが、安全教育等によるソフト面での解消もお願いをしている。完全な解消とはいかないが、関係機関と連携を強化し取組みを行っている。

主要事業： ③ 施設・設備の安全点検の徹底及び整備（政）

- ◆ 限られた予算の中で、優先順位をつけて行わなければならない。安全教育の徹底など、学校内での危険箇所への取り組みも重要である。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	7	組織的に取り組む学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 校内研修や管理職による観察・指導の実施 ② 各校教職員間の効果的な研修の実施
前年度整理した課題	① ICTを活用した授業展開のための教職員の研修の充実 ② 教職員との連絡調整、相談時間の確保の難しさ

2. 令和4年度に実施した（する）取組【実行】

主要事業： ① 校内研修や管理職による観察・指導の実施
◆ ICT研修の実施
主要事業： ② 各校教職員間の効果的な研修の実施
◆ 授業力向上アドバイザーの活用

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① ICT研修の実施	回	2	町独自の研修会の実施
② 授業力向上アドバイザーの活用	校	5	アドバイザーの兼務校

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① ICT研修の実施	回	2	2	100	◎	A	A
② 授業力向上アドバイザーの活用	校	5	5	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 校内研修や管理職による観察・指導の実施
◆ 管理職による観察・指導は、どの学校においても十分に実施されていた。町独自のICT研修の実施に加え、ICT指導員による訪問指導をきめ細やかに実施することで、学校現場のニーズに対応することができた。今後も支援を継続していく。
主要事業： ② 各校教職員間の効果的な研修の実施
◆ 経験豊富な授業力向上アドバイザーと授業について協議する中で、経験年数の浅い教員の授業改善はもとより、児童理解や保護者対応についても理解を深めることができた。また、経験年数の浅い教員が定期的にアドバイザーの授業を参観することによって、単元構想力をはじめとする授業力の向上につながっている。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調査書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	8	「この地域」だからこそ学べる魅力ある学校づくり		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 教職員への郷土を学ぶ研修の実施 ② 副読本を用いた各小学校における久留島学習をはじめとする先哲学習の定着
前年度整理した課題	① 参加しやすい時期と時間の設定 ② —

2. 令和4年度に実施した（する）取組【実行】

主要事業： ① 教職員への郷土を学ぶ研修の実施
◆ 玖珠町の文化・歴史を学ぶフィールドワークの実施
主要事業： ② 副読本を用いた各小学校における久留島学習をはじめとする先哲学習の定着
◆ 久留島武彦副読本の活用

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① フィールドワークへの参加	%	90	新採用、玖珠町に初めて赴任した教職員を対象とした研修への参加
② 久留島武彦副読本を活用した授業の実施	校	6	全小学校（4年生）

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① フィールドワークへの参加	%	90	83	92.2	○	B	B
② 久留島武彦副読本を活用した授業の実施	校	6	6	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 教職員への郷土を学ぶ研修の実施
◆ 夏季休業中に実施。実施できなかった令和2、3年度採用等の教職員も含め、参加を促した。参加しやすい時期に実施したものの、残念ながら休暇等による欠席者が数名いた。欠席者については、次年度開催時に再度案内を行っていききたい。文化財担当職員による説明と現地見学により、引き続き、玖珠町の文化や歴史について理解を深める機会を設けていききたい。
主要事業： ② 副読本を用いた各小学校における久留島学習をはじめとする先哲学習の定着
◆ 小学校1年生で久留島記念館の見学を行っているが、4年生では「久留島武彦副読本」を活用した先哲学習の授業を全小学校で実施している。また、今年度は食育とあわせ、古後小学校で久留島武彦記念館館長による講話が行われた。今後も郷土の先哲学習を続けていくことが必要である。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	9	学校間・校種間のきめ細やかな連携		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 校種間連携に係る事業の実施
前年度整理した課題	① 6小学校の指導項目等の統一の必要性

2. 令和4年度に実施した（する）取組【実行】

主要事業： ① 校種間連携に係る事業の実施
◆ 小6合同授業
◆ 互見授業、相互参加授業
◆ 小中連携会議

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 小6合同授業	回	3	年間実施回数
① 互見授業、相互参加授業	回	3	年間実施回数
① 小中連携会議	回	2	年間実施回数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 小6合同授業	回	3	2	66.7	△	C	B
① 互見授業、相互参加授業	回	3	1	33.3	×		
① 小中連携会議	回	2	2	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 校種間連携に係る事業の実施
<p>コロナ禍の中、制約がありながらも小6合同学習が実施できた。オンラインも含め、小・小の連携や小中の連携の機会を数多く創出することで、いわゆる『中1ギャップ』の抑止に努めていく。</p> <p>◆ 互見授業、相互参加授業は1回実施となり、目標の3回には届かなかった。今後も機会を設けて、相互理解を進める必要がある。</p> <p>小中連携会議について、目標回数は実施できた。今後もより多くの機会を通じて、9年間を見通した指導体制の在り方を検討していく。</p>

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	GIGAスクール推進室
中項目（方針）	10	ICTを活用した教育の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① デジタル教材の活用 ② 児童生徒の情報活用能力の向上 ③ 家庭学習での通信端末の活用
前年度整理した課題	① デジタル教材の学校学年別使用率や効果を検証する。 ② 取組をまとめたHPを公開し、各校の取組を町の取組として平準化を目指す。 ③ コロナ禍での休校下でのオンライン授業を実施について全学校での取り組みができていない。

2. 令和4年度に実施した（する）取組【実行】

主要事業： ① デジタル教材の活用
◆ デジタル教材を利用した授業の実施
主要事業： ② 児童生徒の情報活用能力の向上
◆ 端末を活用した交流授業等の実施
主要事業： ③ 家庭学習での通信端末の活用
◆ 通信端末を使用した家庭学習やオンライン授業等の実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① デジタル教材を利用した授業実施校数	校	7	デジタル教材を利用した授業実施校数
② 端末を利用した交流授業実施校数	校	7	端末を利用した交流授業実施校数
③ オンライン授業実施学校数	校	7	オンライン授業実施学校数
③ 家庭通信環境整備率	戸	5	未整備家庭（5戸）の解消

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① デジタル教材を利用した授業実施校数	校	7	7	100	◎	B	B
② 端末を利用した交流授業実施校数	校	7	7	100	◎		
③ オンライン授業実施学校数	校	7	7	100	◎		
③ 家庭通信環境整備率	戸	5	0	0	×		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① デジタル教材の活用
◆ リーディングDX事業の指定校を中心に、クラウド利用を平準化していきたい。

主要事業： ② 児童生徒の情報活用能力の向上

- ◆ ジュニアICTリーダー事業により、一定以上の効果が出ており評価も得ている、継続して事業を実施したい。

主要事業： ③ 家庭学習での通信端末の活用

- ◆ 端末持ち帰りの必要性を、学校、家庭に提示し、教職員の働き方改革や個別最適な学びにつながる取組とする。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	11	学校における働き方改革の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① ICTを活用した日常における業務改善の取組 ② 出退勤管理と具体性のある改善目標の設定（1校1改善運動）
前年度整理した課題	① 時間外勤務の改善対策の必要性 ② -

2. 令和4年度に実施した（する）取組【実行】

主要事業： ① ICTを活用した日常における業務改善の取組
◆ 時間外勤務時間の縮減
主要事業： ② 出退勤管理と具体性のある改善目標の設定（1校1改善運動）
◆ 改善目標の設定

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 時間外勤務時間の縮減	%	10	前年度比10%の縮減
② 1校1改善運動の実施	校	7	全学校

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 時間外勤務時間の縮減	%	10	小9.2 中9.4	小92 中94	○	C	B
② 1校1改善運動の実施	校	7	7	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① ICTを活用した日常における業務改善の取組
◆ 時間外勤務時間の縮減目標には僅かに届かなかったが、出退勤システムの導入から2年経過し、時間に 関する意識が高まってきた。また、保護者アンケート等をICT端末で行うことで、印刷や回収、集計 の時間削減にもつながっている。引き続き、ICTの活用を推進していく。
主要事業： ② 出退勤管理と具体性のある改善目標の設定（1校1改善運動）
◆ 1校1改善運動を各学校で設定し、目標を持って働き方改革の推進（会議の効率化、ノー残業デーの設 定等）に取り組むことができた。しかしながら、生徒指導やインフルエンザ等の予期せぬ対応が必要な 場面も多く、評価の難しさがある。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	教育政策班
中項目（方針）	12	地域の高校に対する支援と玖珠志学塾の運営		

1. 主要事業（目指すべき方向性）【計画】

主要事業	① 広報及び人材育成や部活動への支援 ② 公営塾の効果的な運営 ③ 郡外等から就学する生徒への下宿助成
前年度整理した課題	① 様々な取組の情報をどのように掲載まで持っていくか課題がある。 ② 塾進学実績を上げ、学校の定員充足率向上を目指す ③ 郡外から美山高へ進学する生徒への制度であるが、制度利用者が多くなることは、よいことなのか。予算関係も含め課題が残る。

2. 令和4年度に実施した（する）取組【実行】

主要事業： ① 広報及び人材育成や部活動への支援
◆ 玖珠美山高校の取組を広報するとともに、部活動支援事業、生徒海外派遣事業の補助を行う
主要事業： ② 公営塾の効果的な運営
◆ 玖珠美山高校生を対象とした「玖珠志学塾」を株式会社Birth47に委託し運営を行う
主要事業： ③ 郡外等から就学する生徒への下宿助成
◆ 郡外から玖珠美山高へ進学しやすい環境を整えるため、町内での下宿を希望する生徒で、部活動や玖珠志学塾利用の者に助成を行う。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 広報くす掲載回数	回	12	月1回程度の掲載
① 補助額の消化率	万円	70	補助額（70万円）の消化率
① 生徒海外派遣人数	人	3	令和元年度派遣した3人の派遣
② 塾からの進学実績	人	19	令和元年度国公立大学の進学実績18人を超える
③ 制度の利用者数	人	3	前年度実績数を上回る。（R3は初年度なので目標2）
共 玖珠美山高校定員	人	120	定員120人を目指す

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 広報くす掲載回数	回	12	7	58.3	×	B	B
① 補助額の消化率	万円	70	66	94.2	○		
① 生徒海外派遣人数	人	3	0	0	—		
② 塾からの進学実績	人	19	16	84.2	○		
③ 制度の利用者数	人	3	5	166	◎		
共 玖珠美山高校定員	人	120	119	99.2	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 広報及び人材育成や部活動への支援

- ◆ 様々な取組の情報をどのように掲載まで持っていくか課題がある。
- ◆ コロナ禍で事業実施に影響あり。部活動支援事業は、予算執行の自由度を高める必要がある。

主要事業： ② 公営塾の効果的な運営

- ◆ 塾からの進学実績を上げ、学校の定員充足率向上を目指す

主要事業： ③ 郡外等から就学する生徒への下宿助成

- ◆ 定員の充足率が向上してきた中で、郡外からの生徒の確保をどのようにするのか。予算関係も含め課題が残る。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	13	就学前教育の質の向上と教育環境の整備		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 諮問機関における調査、審議 ② 認定こども園等と町立幼稚園の連携 ③ 幼小接続カリキュラムの編成 ④ 関係機関との情報共有と就学前児童及び保護者への相談支援
前年度整理した課題	① 実践交流を行い研修を積み重ね、保育力を高めていくことが必要である ② コロナ禍での交流会等の在り方を考える ③ 支援を必要とする児童や保護者への就学支援を行う

2. 令和4年度に実施した（する）取組【実行】

主要事業： ① 諮問機関における調査、審議
◆ 幼児教育振興プログラムを各園で具現化するため虹いろの架け橋協議会で調査、審議を行った
主要事業： ② 認定こども園等と町立幼稚園の連携
◆ 就学前教育研修会や公開保育を通し、子どもの育ちについての共通理解を図った
◆ 5歳児の交流会を実施。各園の先生方が連携しながら取り組むことができた
主要事業： ③ 幼小接続カリキュラムの編成
◆ 園と小学校の職員で子どもの姿を共有し、幼児理解について研修等を行った
主要事業： ④ 関係機関との情報共有と就学前児童及び保護者への相談支援
◆ 園と情報を共有しながら、就学に向けた教育相談会を実施した

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 虹いろの架け橋協議会	回	7	実施回数（R4.1～R5.1）
② 特別支援教育研修会	%	90	研修会の内容についての充実度（幼児教育施設から89名参加）
③ 就学前教育研修会	%	90	研修会の内容についての充実度（年3回実施）
④ 5歳児交流会	回	1	実施回数
⑤ 5歳児給食体験	園	6	各園が1～2回実施する（対象園6園）
⑥ こども幼保小連絡会	%	90	連絡会の内容についての満足度
⑦ 就学時健康診断と教育相談会	%	100	町内就学予定児の受診率（対象児92名）

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 虹いろの架け橋協議会	回	7	7	100	◎	B	B
② 特別支援教育研修会	%	90	93	103	◎		
③ 就学前教育研修会	%	90	86	95.5	○		
④ 5歳児交流会	回	1	1	100	◎		
⑤ 5歳児給食体験	園	6	6	100	◎		
⑥ こども幼保小連絡会	%	90	100	111	◎		
⑦ 就学時健康診断と教育相談会	%	100	97	97	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① 諮問機関における調査、審議</p> <p>◆ 引き続き協議会において、園と小学校の接続について調査、審議を行う</p>
<p>主要事業： ② 認定こども園等と町立幼稚園の連携</p> <p>◆ 公立幼稚園が休園となることから、認定こども園等と連携しながら保育の質の向上に努める</p>
<p>主要事業： ③ 幼小接続カリキュラムの編成</p> <p>◆ 作業部会（幼小連絡会）において、架け橋期カリキュラム作成に向け取り組む</p>
<p>主要事業： ④ 関係機関との情報共有と就学前児童及び保護者への相談支援</p> <p>◆ 各園訪問や教育相談会等を通して、就学支援を行う</p>

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	給食センター
中項目（方針）	14	安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 郷土愛を育む地産地消の推進 ② 新鮮で安全・安心である適正な食材確保 ③ 計画的な調理施設・設備・備品等の整備 ④ 調理業務の民間委託の検討
前年度整理した課題	③ 食器消毒保管機と包丁・まな板・カッタープレート殺菌保管庫の購入 ③ 自動で作動しなくなった厨芥脱水機の制御盤装置の基盤取替え ③ 配送車の後部コンテナ収納口シャッターの修理 ③ ボイラー機の保守点検に係る通信監視機の経年劣化による取替え

2. 令和4年度に実施した（する）取組【実行】

主要事業： ① 郷土愛を育む地産地消の推進
◆ 「㈱みらいの畑から」の農場長を講師に、トマトの栽培方法や栄養について森中央小2年生で授業を行った。
主要事業： ② 新鮮で安全・安心である適正な食材確保
◆ 「くすこのえ産直ネット」から玖珠産米やシイタケ、里芋など、「万年元気」から豆腐を使用している。
主要事業： ③ 計画的な調理施設・設備・備品等の整備
◆ 学校牛乳保冷库修理や洗浄室天井照明取替工事、浄化槽ブローワー修理、配送車1台を購入した。
主要事業： ④ 調理業務の民間委託の検討
◆ 委託内容や県内の実施状況等を研究した。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 食育授業の開催学校数	校	6	全小学校数
② 異物混入や食器数間違いの件数	件	19以下	異物混入や食器数間違い件数が前年度の件数以下
③ 連絡ミス等を起因にして提供できなかった件数	件	0	連絡ミス等を起因にして提供できなかった件数
④ 委託業務について、県内の状況を調べる	—	—	委託業務内容や県内の実施状況調査

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 食育授業の開催学校数	校	6	1	16%	×	C	B
② 異物混入や食器数間違いの件数	件	19以下	20	10%	×		
③ 連絡ミス等を起因にして提供できなかった件数	件	0	0	100%	◎		
④ 委託業務について、県内の状況を調べる	—	—	—	100%	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 郷土愛を育む地産地消の推進
◆ コロナ禍であったため、1校しかできなかったが、継続して取り組んでいく。
主要事業： ② 新鮮で安全・安心である適正な食材確保
◆ 今後も玖珠産の米や野菜を活用していきたい。
主要事業： ③ 計画的な調理施設・設備・備品等の整備
◆ 近年、洗浄機や蒸気配管、諸々の機械の経年劣化により、修繕費が増加している。
主要事業： ④ 調理業務の民間委託の検討
◆ 炊飯委託業者からの長期実施不可の申出により、炊飯業務の検討が必要である。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 公民館班
中項目（方針）	1	地域の教育力の向上		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 「協育」ネットワーク連携促進事業（社） ② 世代に応じた各種学習活動の支援（公）
前年度整理した課題	① 取り組み内容を住民に情報発信する。 ① 支援者を増やす。（学校支援。小学生チャレンジ教室） ② 男性や若者が参加したくなる講座の実施 ② 一般向けの新規講座の開講 ② 地区コミュニティと連携し参加しやすい体制づくり ② 他市町村等と連携した講座の実施

2. 令和4年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 「協育」ネットワーク連携促進事業（社）
◆ 学校支援活動…学校から依頼を受けたコーディネーターが支援ボランティアを依頼し学校教育活動を支援した。
◆ 小学生チャレンジ教室…放課後や休日に余裕教室や自治会館を活用し、安全安心な居場所づくりを行った。
主要事業： ② 世代に応じた各種学習活動の支援（公）
◆ スマホフォト講座や音楽鑑賞講座など、趣向を変えた講座を実施したことで参加年齢層に幅ができた。
◆ コロナ禍の中、講師と対策を取りながら可能な限り実施講座を増やすことができた。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 町報掲載（社）	回	年1回	年度末に取組の実績を掲載し支援者の拡充を図る。
① 支援者数（社）	延べ人数	835	令和2年度 学校支援389人+チャレンジ446人
② 公民館主催講座（一般）（公）	講座	5	令和3年度講座数
② 公民館主催講座（こども）（公）	講座	3	令和3年度講座数（職業体験講座 3種類）
② 公民館主催講座（高齢者）（公）	講座	4	令和3年度講座数（森、玖珠、北山田、八幡）

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 町報掲載（社）	回	年1回	2	200	◎	B	B
① 支援者数（社）	延べ人数	835	751	90	○		
② 公民館主催講座（一般）（公）	講座	5	4	80	△		
② 公民館主催講座（こども）（公）	講座	3	1	33	×		
② 公民館主催講座（高齢者）（公）	講座	4	4	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 「協育」ネットワーク連携促進事業（社）

- ◆ 学校での取り組みを町報に掲載し情報発信することで支援者を増やす。
- ◆ コロナ禍以前のように活発な活動ができるよう、地域人材の活用を目指す。

主要事業： ② 世代に応じた各種学習活動の支援（公）

- ◆ 各自治会館との共同により、公民館講座を実施し、地域に根差した講座を実施する。
- ◆ コロナ感染拡大時期と重なった講座が中止となり、目標値を達成することは出来なかった。
- ◆ 受講生の年齢層等は徐々に広がっているが、更に、いろいろな年齢層の方が参加できる講座を実施する。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 わらべの館
中項目（方針）	2	子どもと大人 家庭と地域での教育		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 青少年健全育成協議会への支援（社） ② わらべサークル協議会への支援（わ） ③ 児童文化の担い手の育成（わ） ④ 家庭教育に関する講演会の実施（社）
前年度整理した課題	① 7地区育成協役員会にて意見交換会、取り組み状況の確認。 ② 後継者を育成するために、各団体の活動内容を広報する必要がある。 ③ 継続的に実施するだけでなく、事業の目的を明確にする。 ④ 講演会の開催

2. 令和4年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 青少年健全育成協議会への支援（社） ◆ 玖珠町青少年健全育成推進大会（青少年意見発表、講演会）は、コロナウイルス感染拡大期と重なり急遽中止した。 ◆ 7地区の健全育成協議会への支援（役員会2回実施）取組状況を確認し、停滞した地区の活動を促した。 ◆ 家庭教育講演会の実施（作家、映画監督 安武信吾氏「あなたは子どもに何を遺せますか」）
主要事業： ② わらべサークル協議会への支援（わ） ◆ わらべサークル協議会と共催で行事を企画運営する ◆ 加盟団体の活動内容チラシを作成し、新規加入者を募集する。
主要事業： ③ 児童文化の担い手の育成（わ） ◆ 子どもたちが保護者とともに学び育む企画立案を行う。
主要事業： ④ 家庭教育に関する講演会の実施（社） ◆ 家庭教育講演会の実施（作家、映画監督 安武信吾氏「あなたは子どもに何を遺せますか」）

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 町青少年健全育成推進大会（社）	人	210	令和元年度 大会参加者210名
① 7地区育成協役員会（社）	回	2	各地区取組確認、意見交換会
① 「育成協だより」の発行（社）	回	2	年間発行回数（大会周知と各地区取組、大会報告）
② 共催行事の企画運営（わ）	回	2	主要行事：2（こどもフェス/新春こどもまつり）
② 加盟団体チラシの作成と広報	回	2	チラシの作成配布・わらべだより等の広報
③ 後継者確保のための研修（わ）	回	3	人材育成事業・ミニ見に劇場
④ 家庭教育講演会（社）	人	30	新規取り組み

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 町青少年健全育成推進大会（社）	人	-	-	-	-	C	B
① 7地区育成協役員会（社）	回	2	3	150	◎		
① 「育成協だより」の発行（社）	回	-	-	-	-		
② 共催行事の企画運営（わ）	回	2	2	100	◎		
② 加盟団体チラシの作成と広報（わ）	式	2	4	200	◎		
③ 後継者確保のための研修（わ）	回	3	2	67	△		
④ 家庭教育講演会（社）	人	30	34	113	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① 青少年健全育成協議会への支援（社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 本年度は大会中止となったが、大会以外の手段でも中高生の取組みを地域の大人が知ることができる機会や環境を整える。 ◆ 7地区の健全育成協議会で連携を図りながら、継続した活動を取り組む（役員の意見交換会にて）。 ◆ 健全育成協議会7地区の課題を把握し、いつでも助言できる事務局体制を整える。 ◆ 育成協だよりの発行を2回予定していたうちの1回は町青少年健全育成大会の報告を掲載だったが、大会中止の為、発行目標に達しなかった。
<p>主要事業： ② わらべサークル協議会への支援（わ）</p> <p>サークル団員の減少や高齢化に不安を抱えている。R5年度は協議会結成40周年を迎える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 定期的なイベント開催による発表機会の確保、後継者育成・発掘のためのプロ劇団によるワークショップを実施していく。
<p>主要事業： ③ 児童文化の担い手の育成（わ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 現状としては、団員の増加・若返りや新規サークルの活動にはつながっていない。 ◆ より魅力的な取り組みを通して児童文化の担い手を支援・発掘・育成していく必要がある。
<p>主要事業： ④ 家庭教育に関する講演会の実施（社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 家庭教育講演会の実施。参加が難しい家庭事情を考慮し、配信も視野に入れた開催方法を検討する。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班
中項目（方針）	3	生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① スポーツ団体、サークル活動の充実 ② 住民参加型のスポーツイベントの実施
前年度整理した課題	① スポーツ団体、サークル活動の情報発信をおこない、団体活動の充実をはかる ② 参加者増加に取り組む

2. 令和4年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① スポーツ団体、サークル活動の充実
◆ スポーツ団体・サークル活動のホームページの充実
主要事業： ② 住民参加型のスポーツイベントの実施
◆ リレーマラソン、すこやかテニス祭、町スポーツ大会

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 各スポーツ団体の情報発信	回	9	少年団8＋総合型スポーツクラブ1
② 参加人数	人	1250	リレーマラソン参加者数R3：145人、R4テニス募集20人、R1町体育1050人

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 各スポーツ団体の情報発信	回	9	7	88	△	C	C
② 参加人数	人	1250	908	73	△		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① スポーツ団体、サークル活動の充実
◆ 魅力ある団体づくりへの支援
主要事業： ② 住民参加型のスポーツイベントの実施
◆ 誰でも参加しやすいスポーツイベントの開催

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調査書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 わらべの館 久留島武彦記念館
中項目（方針）	4	久留島武彦精神を継承する環境の充実		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 日本童話祭の開催（社） ② 久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催（社） ③ 久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催（わ） ④ 久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催（久） ⑤ 小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供（久） ⑥ 久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信（久）
前年度整理した課題	① コロナ禍においても中止ではなく最小限の式典開催（社） ② 大会当日の児童生徒参加者の増（社） ③ 投句人数・投句数・団体投句校数の増加及び入力作業の効率化（わ） ④ 学校と連携して取り組む（久） ⑤ 久留島武彦副読本の改訂（久） ⑥ 料集の制作に取り組む（久）

2. 令和4年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 日本童話祭の開催（社） ◆ 規模を縮小した中で3年ぶりに屋外の2会場で開催。感染拡大に配慮した行事計画を行い、滞在時間が短くなるように工夫した。 ◆ 3年ぶりの屋外開催と合わせて、インターネットによるオンライン配信も同時に行った。
主要事業： ② 久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催（社） ◆ コロナ拡大前の大会より本選出場者を14名から10名（一般の部：5名、小学生の部：5名）に減らして事業計画。感染拡大期と重なったため無観客開催で実施した。 ◆ 応募一般37人、小学生5人の中から1次・2次審査を経て、くすまちメルサンホールで本選を開催した。
主要事業： ③ 久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催（わ） ◆ 指導者養成を目指した俳句指導本の作成
主要事業： ④ 久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催（久） ◆ 町内の小・中・高等学校を1校ずつ回り、作品の応募の呼びかけを行った。 ◆ 受賞作品を冊子にまとめ、関係者や町内の図書館の図書室に配布した。
主要事業： ⑤ 小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供（久） ◆ 久留島武彦副読本の改訂版を町内小学校新4年生及び玖珠町へ転入してきた教員へ配布した。 ◆ 授業の一環として記念館の場の提供及び館長による学校での講演会を実施した。
主要事業： ⑥ 久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信（久） ◆ 久留島武彦新聞記事資料集を作成した。 ◆ 企画展を5回、イベントを多数実施し、メディアにも紹介され情報発信を行った。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① ユーチューブ配信（童話祭）	再生回数	3,483	R3年5月開催から2か月間の総視聴者数（R3年）
② 玖珠町HPの動画再生回数	再生回数	1,050	町内小中学生数1,050人
③ 俳句講習会の開催数（わ）	回	5	投句の質向上のため指導者を対象とする講習会の開催
④ 創作童話コンクール応募作品数（久）	作	124	令和3年度の応募作品数を超える。
⑤ 副読本（改訂版）の活用（久）	部	150	令和2年度の小学校4年生への配布。
⑤ 館長による講演会（久）	回	2	令和2年度の館長による講演会の回数を超える。
⑥ 企画展及びイベントの開催（久）	回	5	令和2年度に実施した企画展・イベントの実施回数を超える。
⑥ 調査報告書・資料集の発行（久）	回	2	久留島武彦資料集と館報の発行。

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① ユーチューブ配信（童話祭）（社）	再生回数	3,483	2,725	78	△	B	B
② 玖珠町ホームページからの音源再生数（社）	再生回数	1,050	0	0	×		
③ 俳句講習会の開催数（わ）	回	5	0	0	—		
④ 創作童話コンクール応募作品数（久）	作	124	202	202	◎		
⑤ 副読本（改訂版）の活用（久）	部	150	161	107	◎		
⑤ 館長による講演会（久）	回	2	1	50	△		
⑥ 企画展及びイベントの開催（久）	回	5	6	120	◎		
⑥ 調査報告書・資料集の発行（久）	回	2	2	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 日本童話祭の開催（社） コロナ禍以前に近い童話祭行事に、オンライン配信を加えた。配信は予想を大きく上回る再生数だった。ウィズコロナ、アフターコロナの行事組み立ての参考になった。今後どのような行事をしていくべきかが課題。
主要事業： ② 久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催（社） ◆ 大会の様様をHP上で配信し町内の小学生に視聴してもらいたかったが、データの納品が遅れたため実施できなかった。新年度の大会開催とあわせ、HPで視聴してもらえるよう準備していく。 ◆ 大会開始から10年を迎え、開催方法を再度検討する。
主要事業： ③ 久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催（わ） ◆ コロナ禍により講習会への参加がなかったが、教本となる俳句の講評集と手引書を作製した。さらなる児童生徒の俳句文化の向上を目指す。
主要事業： ④ 久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催（久） ◆ 町内の子どもたちが、卒業するまでに最低1作品は創作童話を応募するようにする。
主要事業： ⑤ 小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供（久） ◆ 子どもたちの久留島武彦に対する知識は高まっている。今後も副読本を中心に学習を深めてもらう。 ◆ コロナ禍で集団での講演が行えない中、タブレット等を利用し学習の場を提供する。
主要事業： ⑥ 久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信（久）

- ◆ これまでに収集してきた、当時の新聞記事を活字化し資料集としてまとめる。
- ◆ コロナ禍で来館者が少ない中、魅力ある企画展の開催を目指す。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調査

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 公民館班 久留島武彦記念館
中項目（方針）	5	文化の創造と振興		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 町美術展覧会・自主文化芸術活動への支援（社） ② 巡回音楽会の開催（社） ③ 文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催（公） ④ 文化芸術に触れる機会の提供（公）（久） ⑤ 久留島武彦記念館による企画展の開催（久）
前年度整理した課題	① 出展数が減少しているため、学校やお知らせで増加する取り組みを行う。（社） ② — ③ 各自治会館と連携した、公民館フェスティバルの開催（公） ③ ボランティアスタッフを増やす取組を行う。（公） ④ 文化事業の有効的なPR（公） ④ 記念館の設置目的である、町民の文化の向上を目指す観点から町民の来館を促す。（久） ⑤ リピーターを増やす企画展を開催する。（久）

2. 令和4年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 町美術展覧会・自主文化芸術活動への支援（社）
◆ 町美術展覧会の実行主体である玖珠町美術協会が解散した。
主要事業： ② 巡回音楽会の開催（社）
◆ リコーダーとリュートによる演奏会。町内の全小中学校、玖珠美山高校で10回公演をした。
主要事業： ③ 文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催（公）
◆ 実施に向けて実行委員会を行い準備をし、3年ぶりに舞台部門、展示部門の同時開催ができた。
◆ 町民ホールイベントのボランティアスタッフ（メルスタッフ）を初めて募集し、いくつかのホールイベントの支援をもらった。
◆ 自治会館と協力し、作品の展示や舞台出演者が参加できた。
主要事業： ④ 文化芸術に触れる機会の提供（公）（久）
◆ 実施に向けて演者、舞台業者と協議を重ね、工夫しながらピアノ、チューバ、読み聞かせコンサートを実施した。（公）
◆ 佐世保音楽隊コンサートは、3年ぶりに開催し、多くの聴衆が参加することができた。（公）
◆ 魅力ある芸術作品の展示会を実施（野口雨情展、布絵展、日韓陶芸展、春田心齋展）（久）
主要事業： ⑤ 久留島武彦記念館による企画展の開催（久）
◆ 5回の企画展を開催。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 町美展出展数(社)	点	136	136点（令和元年度）（絵画35.書41.写真48.工芸12）

② 巡回音楽会の開催（社）	校	8	小学校6校・中学校1校・高校1校
③ 公民館フェスティバル（公）	人	500	716席×0.7
④ 公共ホール支援事業（ピアノ等コンサート）（公）	人	250	716席×1/2×0.7
④ 佐世保音楽隊コンサート（公）	人	501	716席×1/2×0.7
④ 芸術作品展の入館者数（久）	人	2,881	令和3年度の芸術作品展（中島均、西島伊三雄）の入館者数
⑤ 企画展の入館者数（久）	人	4,746	令和3年度の企画展の入館者数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 町美展出展数(社)	点	136	0	0	—	B	B
② 巡回音楽会の開催（社）	校	8	8	100	◎		
③ 公民館フェスティバル（公）	人	500	500	100	◎		
④ 公共ホール支援事業（ピアノ等コンサート）（公）	人	250	145	58	×		
④ 佐世保音楽隊コンサート（公）	人	501	543	108	◎		
④ 芸術作品展の入館者数（久）	人	2,881	4573	159%	◎		
⑤ 企画展の入館者数（久）	人	4,746	5,716	120%	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 町美術展覧会・自主文化芸術活動への支援（社） ◆ 町美術展覧会は、実行主体の解散により今後の開催は見込めない。町美術展覧会に代わる町民の自主文化活動の発表の機会を検討する。 ◆ 実行委員会委員の固定化及び高齢化により作品数が限られる。
主要事業： ② 巡回音楽会の開催（社） ◆ 子どもたちに一流の芸術文化を鑑賞する機会を提供するため、継続して実施する。
主要事業： ③ 文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催（公） ◆ 3年ぶりに開催できたが、平素の学習活動がコロナ前に戻っておらず、展示作品の出店数が少なかった。 ◆ 各地区自治会館と連携し、各自治会館の学習活動を公民館フェスティバルの発表の場となる仕掛けづくりを検討していく。
主要事業： ④ 文化芸術に触れる機会の提供（公）（久） ◆ 来場者の満足度はとても高いが、興味の無い人や、玖珠町民に合ったPR方法を検討が必要である。（公） ◆ 厳しい財政事情から予算確保が難しく、自主イベントができておらず、文化振興には程遠い状況である。（公） ◆ ホールイベントに限定せず、ボランティアスタッフ（メルスタッフ）の活躍の機会を増やす。（公） ◆ 記念館の設置目的である、町民の文化の向上を目指す観点から町民の来館を促す。（久）
主要事業： ⑤ 久留島武彦記念館による企画展の開催（久） ◆ 引き続き魅力ある企画展の開催を行い、入館者数の増加を目指していく。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班
中項目（方針）	6	地域にある文化財の保存と活用の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 文化財の保存・活用の推進 ② 国指定文化財の保存整備 ③ 各小中学校の郷土教育の支援
前年度整理した課題	① 伐株山城跡の地形調査 ② 角牟礼城跡崩落石撤去工事および久留島氏庭園基本計画策定 ③ 各小中学校で町内の歴史、文化財についての講座を開催

2. 令和4年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 文化財の保存・活用の推進
◆ 伐株山城跡、新発見遺構の現地説明会を実施した。
主要事業： ② 国指定文化財の保存整備
◆ 角牟礼城跡の本丸跡北側石垣の解体工事 ◆ 旧久留島氏庭園の整備の計画、清水御茶屋の調査
主要事業： ③ 各小中学校の郷土教育の支援
◆ 町内の歴史、文化財を解説する講座やフィールドワークを開催した。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 伐株山城跡現地説明会の実施	回	1	伐株山城跡の新発見遺構の周知
② 本丸北側石垣崩落石撤去工事・清水御茶屋の調査	%	100	工事および確認調査の進捗
③ 各小中学校で歴史、文化財を解説する講座を開催	回	8	R3年度の出前講座の実施回数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 伐株山城跡現地説明会の実施	回	1	1	100	◎	A	A
② 本丸北側石垣崩落石撤去工事・清水御茶屋の調査	%	100	100	100	◎		
③ 各小中学校で歴史、文化財を解説する講座を開催	回	8	7	87	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 文化財の保存・活用の推進

◆ 伐株山城跡、童話碑の町指定文化財に向けた検討
主要事業： ② 国指定文化財の保存整備
◆ 史跡角牟礼城跡保存活用計画に基づく整備（本丸北側石垣解体修復工事）を行っていく
◆ 旧久留島氏庭園整備基本計画に基づく課題（清水御茶屋発掘調査）に取り組んでいく
主要事業： ③ 各小中学校の郷土教育の支援
◆ 子どもたちが興味関心を示すような体験型の講座を多く取り入れる

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	公民館班 わらべの館
中項目（方針）	7	生涯学習を保障する図書館サービス網の充実		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① わらべの館の図書の実施（わ） ② 中央公民館図書室の充実と利用者の拡大（公） ③ わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携（公）（わ） ④ わらべの館移動図書館車の活用（わ） ⑤ 図書館サービスのあり方について連携・協議（公）（わ）
前年度整理した課題	① テーマ展示の実施について内容を吟味する。 ② 中央公民館図書室のPR ② 新刊情報の告知（広報など） ③ 図書館システムの導入（公） ④ 連携して行える体制づくりを継続する。 ⑤ 利用促進のため広報活動 ⑤ 図書館システムの導入による相互の連携

2. 令和4年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① わらべの館の図書の実施（わ）
◆ 社会の流れや利用者ニーズに添ったテーマ展示を行い情報発信をする。
主要事業： ② 中央公民館図書室の充実と利用者の拡大（公）
◆ 「広報くす」での新刊情報、アンケートの実施、読書週間の取組など、利用者増の取組を行うことができた。
◆ 図書室の雰囲気づくりを行い、利用しやすい図書館づくりを目指し実施した。
主要事業： ③ わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携（公）（わ）
◆ 図書館システムの導入により利用者が相互での貸し借りができるようになった。（公）
◆ わらべの館と連携し、新刊図書の増冊を図ることができ、利用者増につながった（公）
◆ 相互の業務内容について精査をし実施する（わ）
主要事業： ④ わらべの館移動図書館車の活用（わ）
◆ 新規ステーションの設置を目指す。
◆ 団体貸出の利用冊数を伸ばす。
主要事業： ⑤ 図書館サービスのあり方について連携・協議（公）（わ）
◆ 図書館システムを導入した（公）
◆ 継続して連携し町内全体の読書推進に向けて協議を重ねる（わ）

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① テーマ展示の回数（わ）	回	36	月3回の展示
① レファレンスと県内図書館との連携（わ）	式	1	県内での借受と貸出の円滑化

② 利用者数（公）	人	770	過去の最大利用者数（平成28年度基準）
② 貸出冊数（公）	冊	1772	過去の最大貸出冊数（平成28年度基準）
③ 相互協力に向けた協議（わ）	式	1	中央公民館図書室との連携協議
④ 新規ステーション増（わ）	箇所	2	図書館車の有効活用
④ 新規団体貸出施設の増（わ）	箇所	2	読書活動推進のため
⑥ 相互協力に向けた協議（公）（わ）	式	1	図書館サービスに向け関係者と協議

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① テーマ展示（わ）	回	36	33	91	○	B	B
② レファレンスと県内図書館との連携（わ）	式	1	1	100	◎		
② 利用者数（公）	人	770	502	65	△		
② 貸出冊数（公）	冊	1772	1,560	88	○		
③ 相互協力に向けた協議（公）（わ）	式	1	1	100	◎		
④ 新規ステーション増（わ）	箇所	2	2	100	◎		
④ 新規団体貸出施設の増	箇所	2	2	100	◎		
⑥ 相互協力に向けた協議（公）（わ）	式	1	1	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① わらべの館の図書の充実（わ）</p> <p>◆ 今後もテーマ展示の実施や内容について工夫をこらしながら実施していく。</p>
<p>主要事業： ② 中央公民館図書室の充実と利用者の拡大（公）</p> <p>◆ 新刊の増冊は、利用者増に必要な事だと分かった。限られている予算内で、新刊増になる手段を模索する。</p> <p>◆ 来館者が、図書室に興味をもち、利用してみたいくなる図書室の雰囲気づくりを更に行っていく。</p>
<p>主要事業： ③ わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携（公）（わ）</p> <p>◆ 図書館システムを導入をした。少しでも利用しやすい図書室づくりを進める。（公）</p> <p>◆ 図書システム導入後は、2館で何をすべきか、何をすることによりもっと利用しやすくなるか協議、実施していく。（公）</p>
<p>主要事業： ④ わらべの館移動図書館車の活用（わ）</p> <p>◆ 福祉施設や学校、自治会館などの施設を中心にステーションを配置。</p> <p>◆ 周辺部の潜在的なニーズを取り込み、巡回の周知、新規ステーションの拡充を進める必要がある。</p>
<p>主要事業： ⑤ 図書館サービスのあり方について連携・協議（公）（わ）</p> <p>◆ 北山田自治会館へ移動図書館車の運行。森自治会館へ団体貸出を実施。</p> <p>◆ 町民に求められる図書館サービスのあり方について、連携・協議を継続する。</p>

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅲ	人権教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	1	学校教育における人権教育の充実		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進 ② 部落差別解消に向けた教職員研修の実施
前年度整理した課題	① - ② -

2. 令和4年度に実施した（する）取組【実行】

主要事業： ① 児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進
◆ 人権教育に係る年間指導計画の作成及び実施
主要事業： ② 部落差別解消に向けた教職員研修の実施
◆ 人権・部落差別解消推進指導員の活用

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 人権教育に係る年間指導計画の作成	校	7	全学校実施
② 人権・部落差別解消推進指導員による教職員研修の実施	校	7	全学校実施

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 人権教育に係る年間指導計画の作成	校	7	7	100	◎	A	A
② 人権・部落差別解消推進指導員による教職員研修の実施	校	7	7	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進
◆ 各学校において人権教育に係る年間指導計画を作成することで、計画的に指導を行うことができた。継続的に学び啓発に繋げることが重要であるため、今後も継続して取り組んでいく。
主要事業： ② 部落差別解消に向けた教職員研修の実施
◆ 人権・部落差別解消推進指導員による教職員研修を各学校で実施した。

令和5年度（令和4年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅲ	人権教育	担当所属	社会教育班
中項目（方針）	2	あらゆる場における人権教育の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 人権公開講座の開催 ② 広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載 ③ 部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施
前年度整理した課題	① あらたにこども園の先生の参加をお願いする。 ② ー ③ 人権啓発チラシの配布

2. 令和4年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 人権公開講座の開催
◆ 小中学校PTA、教員、町職員、こども園の参加をお願いする
◆ わかりやすい内容となるために講師と十分な打ち合わせを行い、参加者の満足度を上げる
主要事業： ② 広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載
◆ 年12回掲載
主要事業： ③ 部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施
◆ 主催や共催事業を行う際、人権啓発チラシを配布する

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 受講者数の確保	人	297	297人（令和元年度）
① 分かりやすい・まあまあわかりやすい	%	77	77%（平成30年度）講座終了後のアンケート調査結果
② 人権作文の「広報くす」掲載	回	12	12回（令和2年度）毎月掲載
③ 人権啓発チラシの配布	回	3	青少年健全育成大会、語りべ大会、家庭教育講演会

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 受講者数の確保	人	297	329	111	◎	B	A
① 分かりやすい・まあまあわかりやすい	%	77	83	108	◎		
② 人権作文の「広報くす」掲載	回	12	12	100	◎		
② 人権啓発チラシの配布	回	3	0	0	×		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 人権公開講座の開催
◆ PTA、教員、町職員の研修として参加者の確保。

◆ R4より新たにこども園の先生に参加者の協力を依頼した。引き続き要請する。
主要事業： ② 広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載
◆ 小中学校の協力により継続していく。
主要事業： ③ 部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施
◆ 2つの行事は中止。唯一開催された家庭教育講演会で配布を忘れた。コロナの認識が改められ新年度は行事の開催が見込めるので、啓発を行っていきたい。
◆ 人権啓発チラシの配布。